



7月号

令和4年6月30日 発行

# 四中だより

朝霞市立朝霞第四中学校  
埼玉県朝霞市栄町 5-1-60  
TEL(048)466-4711  
Fax(048)467-4744

目指す学校像

生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

感謝の気持ちを忘れずに

校長 稲泉 功

先日、親親隊の皆さんと整備した本校ふれあいガーデンには、様々な花が見頃を迎えております。とりわけこの時期はアジサイが生き生きと梅雨の空気の中、美しい花卉を開かせています。ふれあいファームのサツマイモも順調に生育しております。参加していただきました保護者の皆様、部活動の生徒たち、先生方には心から感謝しております。このふれあいガーデンは、学校・家庭・地域の連携の証として、また本校のSDGsの象徴として、今後も維持していく所存です。ご協力いただいた皆さまありがとうございました。

さて、様々な決意や抱負をもって迎えた始業式・入学式から、早いものでもうすぐ3カ月になります。生徒の皆さんは、その決意や抱負がどのくらい達成できたでしょうか。本校での生活にどのくらい満足できているのでしょうか。OECDの国際報告書によりますと、日本の中学生は、学校や家庭や地域での生活に満足している割合が他国と比べて低く、自分自身に対して自信が持てないことが報告されています。比較の対象となった国々を見てみると、教育条件や生活環境も日本ほど整っていないと思われる国が大半です。少なくとも、日本は、日常生活を送る上で危険や不安を感じることはない国です。ではなぜ、不満を感じる生徒の割合が多いのでしょうか。

私は、我々日本人が、毎日生命の危険を感じることなく、明日への不安を抱くことなく生きていくことができることにたいして、感謝する心を忘れていないのではないかと考えています。例えば、食べ物を例にとると、農林水産省の統計によれば、日本のカロリーベースの食糧自給率は37%（令和2年度）で、前年度（令和元年度）の38%から1ポイント低下しました。現在、我々が毎日口にしている食べ物の六割以上は、海外に依存しているのです。私たちが住む日本は、資源の多くを海外からの輸入に頼っています。つまり、私たちの生活は、世界中の人々によって支えられているのです。

今世界では、2030年へ向けて持続可能な社会のため、私たちにできることを行い、互いに支え合う活動が注目されています。皆さんが毎日、安心して学校生活を送ることができるのも、家族の支えはもちろんのこと、気付かないところで、皆さんのために努力してくれている人々によって支えられているのです。皆さん、あらためて自分を見つめ直してみましよう。そして自分の周りを意識してみましよう。そこには、家族をはじめとして、一度も会ったことのない人々まで含め、あなたの生活を支えてくれている人々がいるのです。そしてその人々に感謝することからはじめてみましよう。そうすれば、自分が、今、ここにこうして生きていることに自信が持てるようになるはずです。

来週の期末テストが終わるともうすぐ夏休みがやってきます。生徒の生活の場も各家庭や地域が中心となります。保護者の皆様におかれましては、お子様をよく見ていただき、気になることがありましたら、早め早めに、学級担任をはじめ学校に連絡・相談してください。どうぞよろしく願いいたします。



ふれあいガーデンでは、「自主・協力・健康」を謳う四中モニュメントをバックに、可愛い花々が、今日も元気に咲き誇っています。